

県医トピック

山口県知事と共同アピールを公表



4月24日、村岡知事と河村会長は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取組について意見交換し、県及び県医師会、郡市医師会は、一致団結して医療崩壊を防ぎ、持続可能な医療提供体制を維持するための取組を進めていくことを旨とする共同アピールを公表しました。

1 意見交換

(1) まん延期を想定した医療提供体制の早急な構築

- ① 症状に応じた医療提供体制の整備
- ② 新型コロナ相談外来（あるいは発熱外来）の増設
- ③ PCR検査の充実

(2) 医療従事者が安心して診療できる体制の確保

- ① 医療用衛生部材の確保
- ② 情報伝達・情報共有の強化
- ③ 医療機関等の風評被害防止のための県民啓発

2 共同アピール

知事、県医師会長連名による共同アピールを公表。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた 医療提供体制等の充実

県内では、新型コロナウイルス感染症患者が徐々に増加しており、予断を許さない状況です。

今後、こうした状況が長引き、さらに感染が拡大する事態になると、医療従事者の懸命な活動に関わらず、県内において医療崩壊が懸念されます。

こうした緊急の事態に備え、県及び県医師会、郡市医師会は、一致団結して医療崩壊を防ぎ、持続可能な医療体制を維持するため、下記の内容を旨とし、取組を進めていきます。

記

- 1 感染拡大に対応した医療提供体制の拡充
- 2 医療従事者が安心して診療できる体制の確保

令和2年4月24日

山口県知事 村岡 嗣政
山口県医師会長 河村 康明